

2014年5月20日
IT融合人材育成連絡会
検討成果報告セミナー

リクルートグループの 取り組み

イノベーション体質の構築と維持

株式会社リクルートテクノロジーズ
企画統括室人事部人事教育グループ
石川 美礼

mirey@r.recruit.co.jp

Copyright(C)2014 Recruit Technologies Co.,Ltd All rights reserved

リクルートグループの施策

■風土

「Willを重視」

どうしたい？の問いかけ

「変化」

■イノベーション施策

①New-RING制度（新規事業提案制度）

②ARINA制度（業務における新しい価値の創造）

① New-RING制度（新規事業提案制度）

NEW - Recruit Innovation Group)

- ・経営理念「新しい価値の創造」を浸透のための施策
- ・リクルート及びグループ会社の全従業員が対象
- ・3名以上のグループ単位で参加 ※社外メンバーも可能
- ・活動費・賞金の支給
 - 1次レポート提出まで活動費 5万円 / 1グループ
 - 1次レポート審査合格者には最終審査までの活動費 500万 / 1グループ
 - 賞金：グランプリ 200万、準グランプリ 100万、入賞 50万
- ・エントリー件数：250件～350件 参加人数：1000人～1500人
- ・最大のモチベーションは、“提案次第で事業化できること”



新規事業提案制度の運用にあたり重要なこと

- 新規事業提案制度を継続的に実施するには、役員のコミットと失敗しても止めないという2点

(1) 役員のコミット

ありがちな新規事業提案制度は「経営企画が募集・精査し、後は事業開発に任せる」というパターン。大切なのは、募集することではなく、事業化することなので、事業化を決めた案件に対して必ず一人役員にコミットしてもらうことが重要。

(2) 失敗の許容

新規事業開発に成功しているように見えるリクルートでも、10件投資して1件当たれば良いと考えているので、忍耐強く続けることが重要。また、良質な案件でさえ、5年程度は陽の目を見ないことがあり得る。

(提案制度は1981年から改善しつつ継続実施)

②ARINA制度

概要

- ・新規ビジネスの創造に脚光を当てるNew-RINGに対し、日々の通常業務の中で「新しい価値の創造」を行った社員を表彰する制度。
- ・在籍事業のみならず、他事業にもそのナレッジの有用性が認められた場合に受賞となる。
- ・ また、特に、「社会課題の解決」に積極的に取り組んだ案件について、広く募集する。

賞名	単位	対象	対象数	本賞	副賞	審査基準	審査手順
全社イノベーション賞 (ARINA)	個人	リクルートグループ籍の全従業員	10前後 (通期)	トロフィー 賞状	賞金	高いレベルでイノベーション評価を獲得しているか、それに該当する成果があること	・中核会社・機能会社で一律にエントリー枠を設定 ・ <u>審査は経営戦略会議で行う</u>

イノベーション施策 ②ARINA制度

エントリー基準

- ・ 推薦基準は、イノベーション評価同様、
【新規性・再現性・汎用性】観点から評価。
- ・ 原則は1件1名の推薦だが、複数連名の推薦も可。
連名の場合は、取組みの中で各人の果たした役割を明確にする。
- ・ エントリー総数を、11会社計30件前後から選出するため、
エントリー枠は中核会社：各3件程度 機能会社：各2件程度とする
- ・ 部門は、下記5カテゴリの中から自由選択。

①商品プランニング	②顧客サービス	③業務プロセス改善	④業務体制構築	⑤事業経営
-----------	---------	-----------	---------	-------